

瀬戸内国際芸術祭の取組みが 地域にもたらしたものの



2018.10.22

瀬戸内国際芸術祭とは

瀬戸内国際芸術祭は、『海の復権』をテーマに掲げ、瀬戸内の島などを舞台に、2010年から、3年ごとのトリエンナーレ方式で開催している日本を代表するアートフェスティバルです。

船を乗り継ぎ、アートを道しるべに島を巡りながら、心癒す瀬戸内の多島美や島のお年寄りとの会話などを楽しみ、地域の文化に触れるという、非日常的な時間と空間を創り出す独自の手法が、多くのファンを獲得してきました。

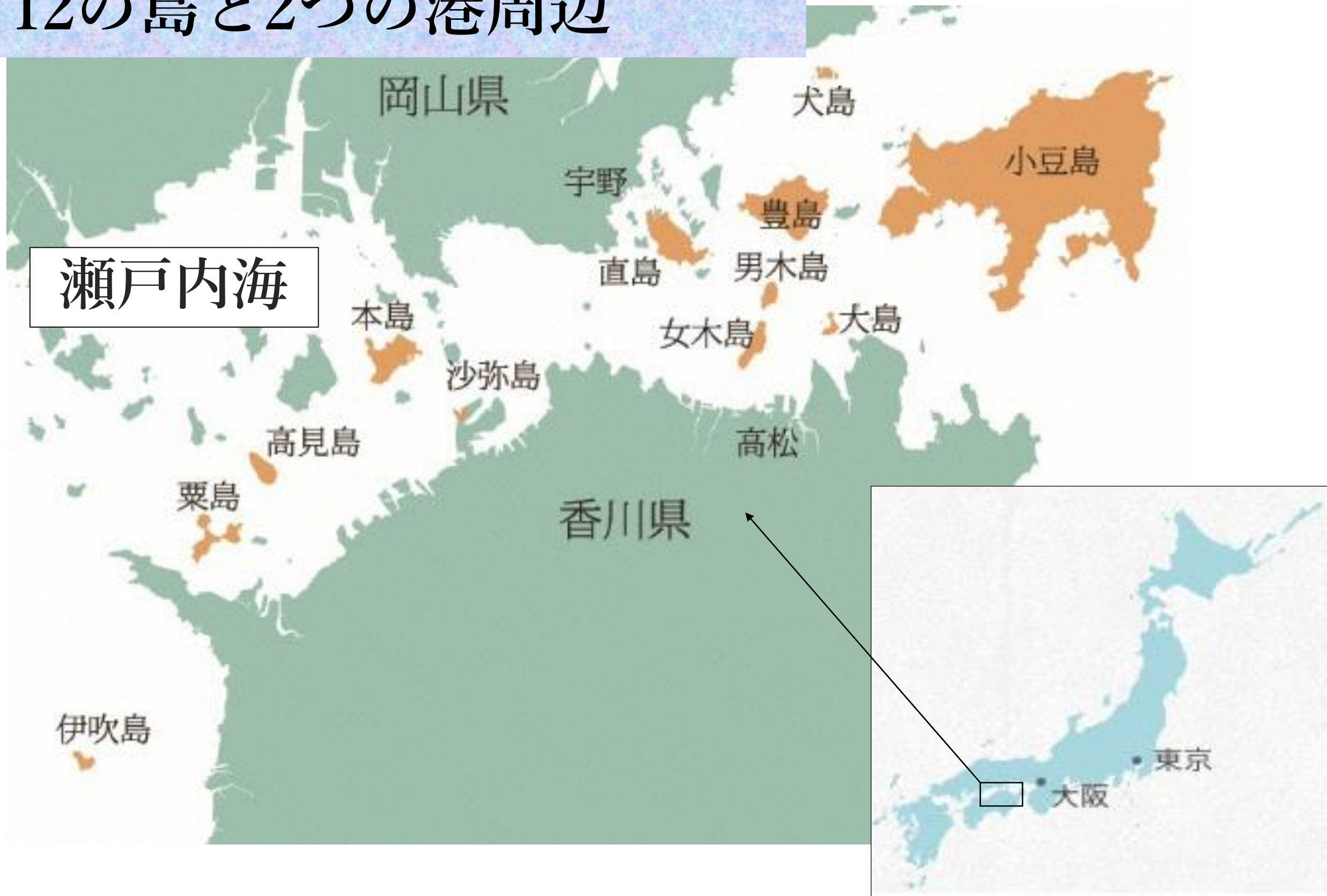
アートが媒介となって、瀬戸内に暮らす人々と、国の内外から訪れる多くのアーティスト、ボランティアサポーター、ツーリスト等との、人と人、地域と世界との新たな関係性を産み出し、地域の活力と元気を取り戻し、再生を目指す、官民連携による取組みが、世界から注目されています。

瀬戸内国際芸術祭2016 開催概要

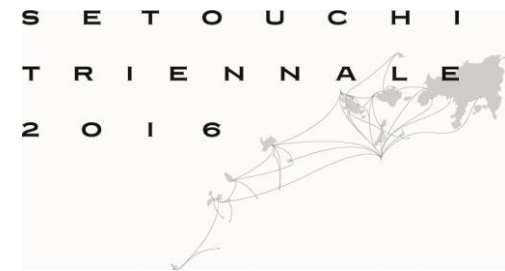
- 名称 瀬戸内国際芸術祭2016
テーマ 『海の復権』
- 会期 春：2016年3月20日(日/春分の日)～4月17日(日)
夏：2016年7月18日(月/海の日)～9月4日(日)
秋：2016年10月8日(土)～11月6日(日) 計108日
- 会場 直島/豊島/女木島/男木島/小豆島/大島/犬島/
沙弥島(春)/本島(秋)/高見島(秋)/栗島(秋)/
伊吹島(秋)/高松港周辺/宇野港周辺
- 主催 瀬戸内国際芸術祭実行委員会
会長 浜田恵造 香川県知事
総合プロデューサー 福武総一郎 (公財)福武財団理事長
総合ディレクター 北川フラム アートディレクター

瀬戸内国際芸術祭2016 会場

12の島と2つの港周辺



瀬戸内国際芸術祭2016 開催結果



- 参加作家 34の国・地域、226組
- 作品数 206作品、37イベント
- 総来場者数 104万人
- 作品受付等ボランティア
延べ1万人(こえび隊、企業、大学等)



- パブリシティの実績 新聞・テレビ・雑誌等 1,740件(うち海外176件)
- 公式サイトへのアクセス 181の国・地域から約283万件(海外比率12.1%)
- 第1回ジャパン・ツーリズム・アワード「大賞」受賞
- 「Yahoo!検索大賞2016」の地域部門1位
- 国内外からの視察

- 三笠宮寛仁親王妃信子殿下
- アメリカ、フランス、オーストラリア、ブラジル、イスラエル、メキシコ、ルクセンブルグ、台湾の駐日大使、駐日代表
- タイ王国文化大臣、G7閣僚会合参加者
- 台湾主要都市の首長等 その他多数

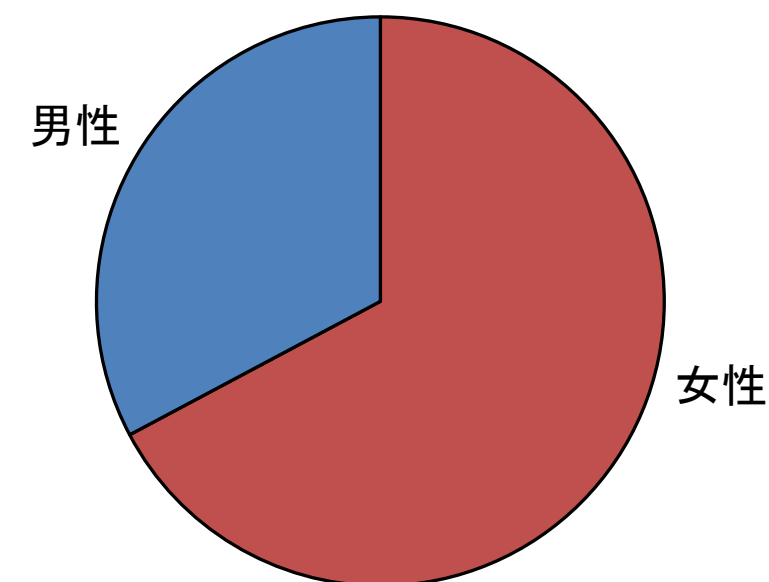


来場者の傾向 (来場者アンケートから)

回収数15,336枚

●性別

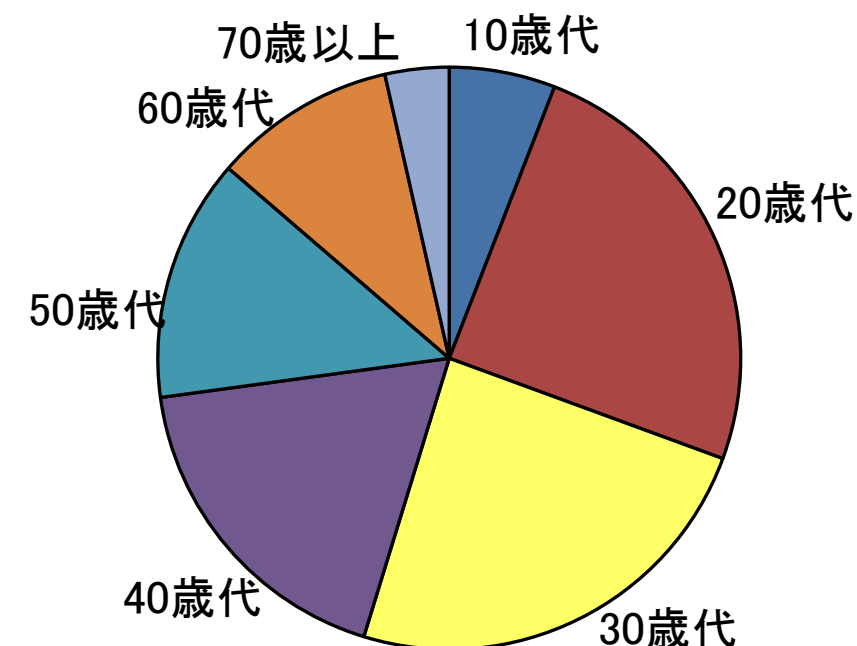
性別	人数	割合	前回割合
女性	10,297人	67.2%	67.5%
男性	5,019人	32.8%	32.5%
総計	15,316人	100.0%	100.0%



✓ 前回同様に3分の2が女性

●年齢層

年齢層	人数	割合	前回割合
10歳代	900人	5.9%	8.6%
20歳代	3,777人	24.7%	27.6%
30歳代	3,689人	24.1%	23.9%
40歳代	2,769人	18.1%	14.6%
50歳代	2,059人	13.5%	12.0%
60歳代	1,549人	10.1%	9.7%
70歳以上	542人	3.5%	3.5%
総計	15,285人	100.0%	100.0%



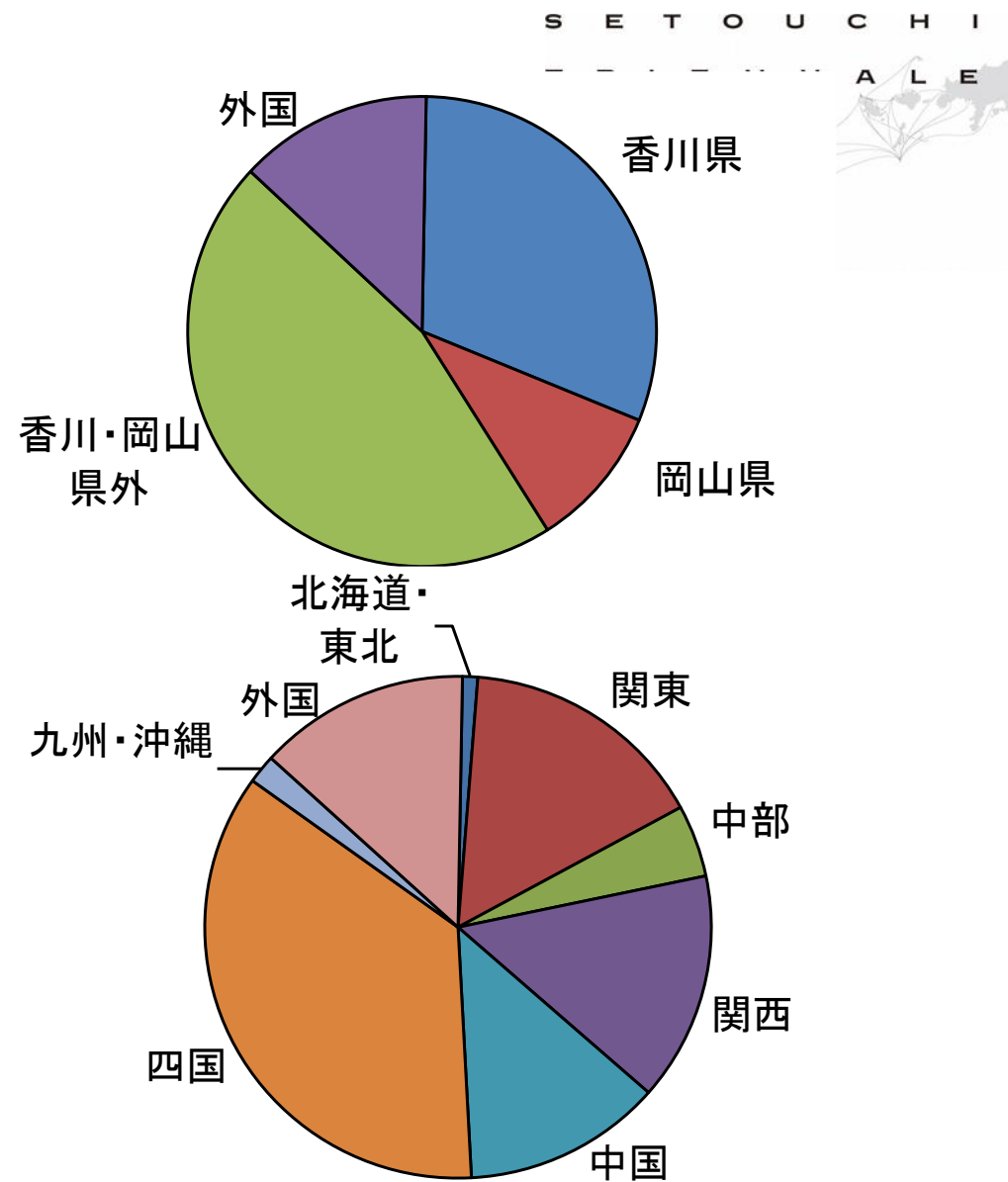
✓ 30歳代以上の年齢層も増加

●居住地

居住地	人数	割合	前回割合
香川県	4,729人	30.9%	36.1%
岡山県	1,507人	9.8%	11.0%
香川・岡山県外	7,028人	45.9%	50.3%
外国	2,044人	13.4%	2.6%
回答数	15,308人	100.0%	100.0%

地域	人数	割合	前回割合
北海道・東北	147人	1.0%	0.9%
関東	2,396人	15.8%	17.8%
中部	703人	4.6%	4.9%
関西	2,231人	14.7%	16.5%
中国	1,924人	12.7%	14.3%
四国	5,416人	35.8%	41.1%
九州・沖縄	280人	1.8%	1.9%
外国	2,044人	13.5%	2.6%
回答数	15,141人	100.0%	100.0%

国名	人数	割合	前回割合
台湾	731人	37.2%	29.2%
香港	272人	13.8%	9.1%
中国	223人	11.4%	2.3%
フランス	122人	6.2%	9.8%
アメリカ合衆国	90人	4.6%	8.4%
オーストラリア	72人	3.7%	4.5%
イギリス	60人	3.1%	3.6%
韓国	60人	3.1%	12.5%
オランダ	35人	1.8%	1.8%
ドイツ	36人	1.8%	1.4%
その他	263人	13.4%	17.4%
合計	1,964人	100.0%	100.0%

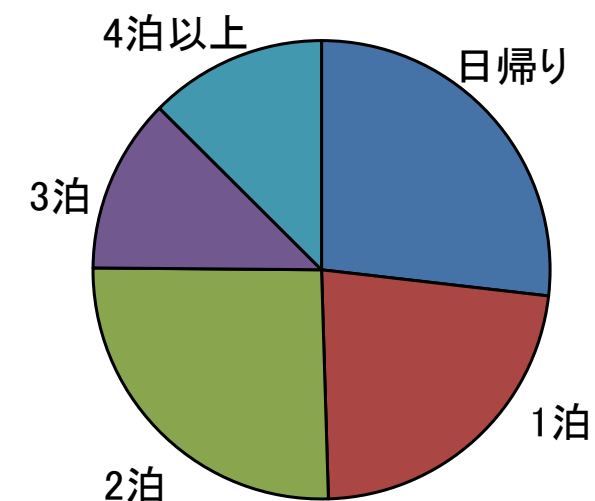


- ✓ 全ての都道府県から来場
- ✓ 香川県の次に多かったのは関東
- ✓ 外国人が大幅に増加
- ✓ 台湾、香港、中国、フランス、米国の順
- ✓ アジア、欧米の両方から注目

●滞在状況

香川・岡山県以外からの来場者の滞在状況

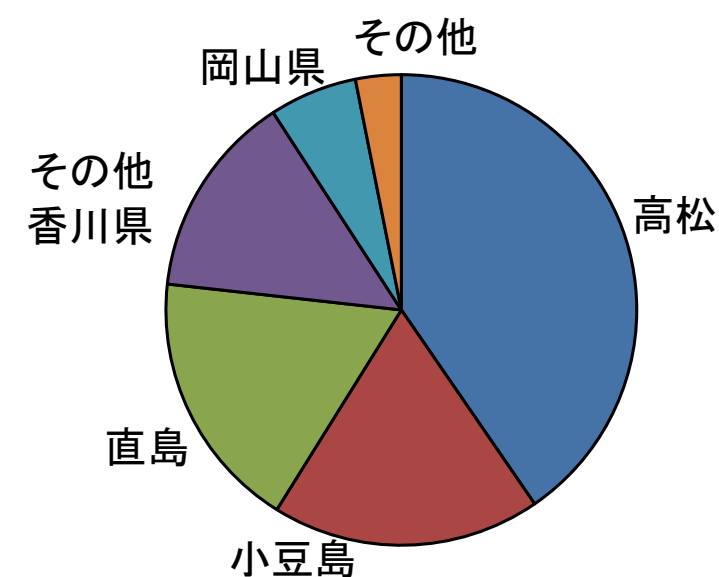
日数	人数	割合	前回割合
日帰り	2,432人	26.8%	25.8%
1泊	2,058人	22.7%	28.3%
2泊	2,322人	25.6%	27.6%
3泊	1,117人	12.3%	11.4%
4泊以上	1,138人	12.6%	6.9%
回答数	9,067人	100.0%	100.0%



- ✓ 2泊以上が過半数、前回より4.6%増
- ✓ 香川・岡山以外からの来場者の平均滞在日数2.72日

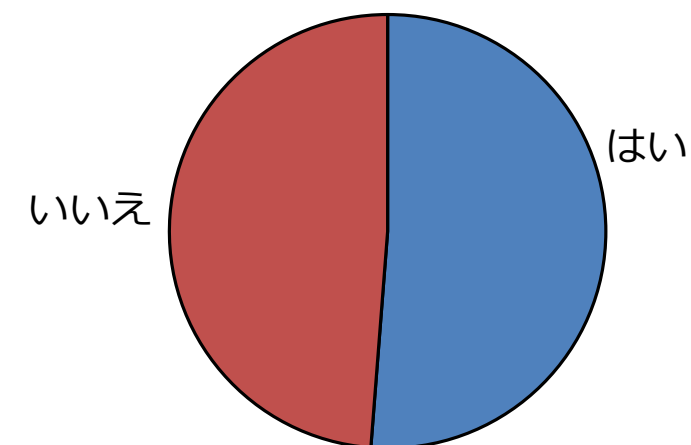
香川・岡山県以外からの来場者の主な宿泊地

宿泊先	人数	割合	前回割合
高松	3,626人	40.4%	41.4%
小豆島	1,655人	18.4%	18.8%
直島	1,605人	17.9%	18.6%
その他香川県	1,263人	14.1%	13.0%
岡山県	541人	6.0%	6.0%
その他	281人	3.1%	2.2%
回答数	8,971人	100.0%	100.0%



芸術祭以外の観光地への訪問

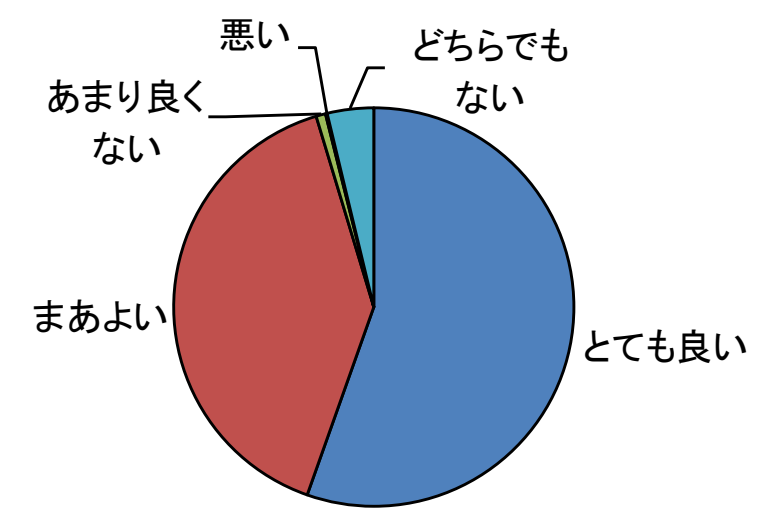
回答	人数	割合	前回割合
はい	7,244人	51.2%	27.3%
いいえ	6,897人	48.8%	72.7%
回答数	14,141人	100.0%	100.0%



● 総合評価

Q.芸術祭に来場されて、総合的にはいかがでしたか

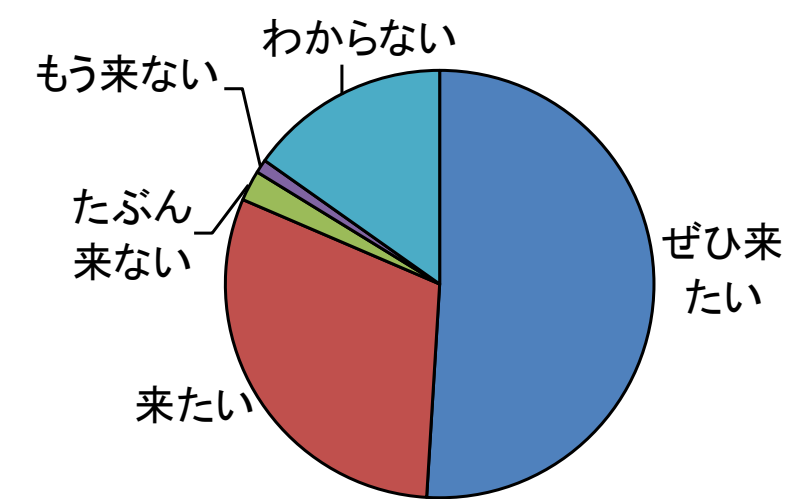
評価	人数	割合	前回割合
とても良い	7,536人	55.4%	52.8%
まあ良い	5,433人	39.9%	41.2%
あまり良くない	104人	0.8%	1.2%
悪い	19人	0.1%	0.2%
どちらでもない	510人	3.7%	4.6%
回答数	13,602人	100.0%	100.0%



✓ 95.3%が「とても良い」「まあ良い」と評価

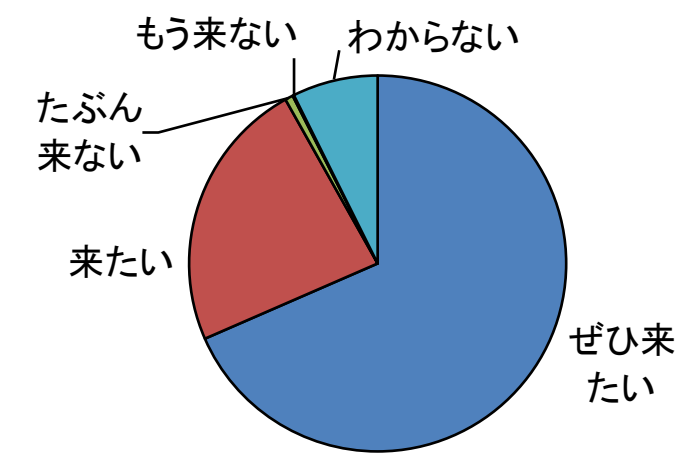
Q.次回芸術祭が開催された場合、また訪れたいですか

回答	人数	割合	前回割合
ぜひ来たい	6,845人	51.0%	50.4%
来たい	4,096人	30.5%	30.0%
たぶん来ない	311人	2.3%	2.5%
もう来ない	138人	1.0%	0.8%
わからない	2,040人	15.2%	16.3%
回答数	13,430人	100.0%	100.0%



Q.(前回来られた方で)次回芸術祭が開催された場合、また訪れたいですか

回答	人数	割合	前回割合
ぜひ来たい	3,779人	68.4%	68.8%
来たい	1,293人	23.4%	23.3%
たぶん来ない	38人	0.7%	0.5%
もう来ない	6人	0.1%	0.1%
わからない	405人	7.3%	7.3%
回答数	5,521人	100.0%	100.0%



✓ リピーター来場者の91.8%が次回も「ぜひ来たい」「来たい」と回答

芸術祭開催による地域への波及効果

(1) 県内への経済波及効果

※日本銀行高松支店と瀬戸内国際芸術祭実行委員会とが共同で
香川県産業連関表を用いて試算し公表

①波及効果

経済波及効果	直接効果	1次波及効果	2次波及効果
139 億円 うち春会期 28 億円 夏会期 59 億円 秋会期 53 億円	86 億円 うち春会期 17 億円 夏会期 36 億円 秋会期 33 億円	29 億円 うち春会期 6 億円 夏会期 12 億円 秋会期 11 億円	24 億円 うち春会期 5 億円 夏会期 10 億円 秋会期 9 億円

直接効果： 芸術祭の来場者による県内消費金額等から、財・サービスの調達を県外に頼らざるを得ないなど、県外に消費が流れる部分を控除したもの

1次波及効果： 直接効果によって県内各産業の生産額が増加した額

2次波及効果： 直接効果及び1次波及効果によって生じた雇用者所得の増加分が、新たな消費に向けられることにより、県内各産業の生産額が増加した額

前提条件： 瀬戸内国際芸術祭実行委員会が期間中に実施したアンケート結果や各会場へ向かう航路の乗船人数等を踏まえ、試算上の人員を29万人として推計

②消費金額等

	県外・宿泊	県外・日帰り	県内・宿泊	県内・日帰り
構成比	47.5%	21.4%	0.9%	30.2%
1人あたり消費金額	53,127 円	19,150 円	31,072 円	14,646 円

※外国人来場者の消費金額は61,733円/人。全体に占める構成比は13.3%、県外・宿泊に区分

次回瀬戸内国際芸術祭に向けて重点的に取り組む課題

■地域の活性化を担う人材の育成

「瀬戸内フラム塾」～地域型芸術祭のつくられ方～

■塾の目的

- ・瀬戸内国際芸術祭2019の開催に向けて、アーティストが行う作品制作やイベント開催などの活動の支援、アートの展開を通じた地域住民・ボランティアサポーターとの地域再生に向けた取組み、飲食・宿泊の提供など、芸術祭を様々な角度から支え、地域の活性化を担う人材を育成する。

■背景・ねらい

- ・地域活性化のカギは「人材」、人口減少と高齢化が進展する中で、地域の活性化を担う人材の発掘、育成、確保が急務との認識
- ・いわゆる「関係人口」を増やすことが、人材発掘につながる
- ・瀬戸芸の手法に対する国内外の関心の高さ(とりわけアジア)
- ・瀬戸芸2016で実施した「食のフラム塾」「アジアフォーラム」の成果
- ・瀬戸芸2019の後は、瀬戸内のみならず他の地域でも活躍を期待

■応募者

- ・50名程度の募集に対して 67名

※国籍: 日本51名(うち県内24名)、台湾13名、中国3名

■カリキュラム

2018.1～3

座学研修

⇒

2018.3～9

体験・実践研修

⇒

2018.10～

総括研修



■アジア諸国など海外との交流促進

香川県、瀬戸内地域の
世界に対する求心力アップ！

瀬戸内国際芸術祭2016

「瀬戸内アジアフォーラム」 実施結果

開催期間: 2016/10/17(月)~21(金)

オプションプログラム

直島等ツアー 10/16(日)~17(月)

越後妻有ツアー 10/22(土)~23(日)

会場: かがわ国際会議場(高松市)

福武ハウス(小豆島)

主催: 瀬戸内国際芸術祭実行委員会

共催: 香川県、高松市、福武財団

助成: 文化庁、国際交流基金

後援: 外務省

講師・受講参加者: 10の国と地域から56名

国籍: 中国、香港、台湾、韓国、タイ、フィリピン、
インドネシア、カンボジア、オーストラリア、日本



■海外への情報発信、外国人来場者への対応強化

海外へのアピール	<ul style="list-style-type: none">○アジア圏の主要都市(台北、香港、北京)で北川フラム総合ディレクターによる説明会○ベネッセ/福武財団と連携して欧米メディアへのプロモーション○公式ウェブサイト等の多言語化:日・英・韓・中(繁)・中(簡)○開幕1年前から英語によりSNS定期発信○海外インフルエンサーを招聘し現地ツアー○鑑賞パスポートを海外で購入決済できる仕組み(11月～)
外国人への情報提供	<ul style="list-style-type: none">○総合インフォメーションにおいて英韓中国語対応○カテゴリーⅢの外国人観光案内所(JR高松駅、高松空港)との連携○英語版ガイドブックの販売、英語版マップの配布、英語版アプリの開発○「KAGAWA-Wifi」の普及促進、島嶼部等でのWifiアクセスポイント設置
通訳サービス	<ul style="list-style-type: none">○「香川せとうち地域通訳案内士」の認定、登録、研修○「多言語コールセンター」との連携○学校との連携(小豆島中央高校、直島中学校など)
作品イベント企画展開	<ul style="list-style-type: none">○駐日大使館との連携、ケースによっては本国政府文化省等への協力依頼○外務省、国際協力基金等との連携
その他	<ul style="list-style-type: none">○滞在時間、滞在日数を増加させる取組み○芸術祭の会場以外の場所(観光地、繁華街等)にも誘導する取組み○消費を促す取組み

瀬戸内国際芸術祭2019 開催計画

季節	シーズンテーマ	会期	日数
春	ふれあう春	4月26日(金)～5月26日(日)	31日
夏	あつまる夏	7月19日(金)～8月25日(日)	38日
秋	ひろがる秋	9月28日(土)～11月4日(月)	38日
合計日数			107日



以上